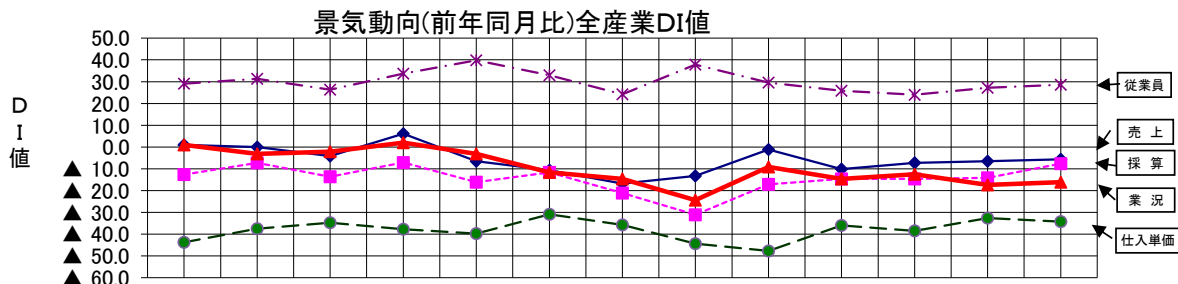


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

## 【8月の概要】業況の改善傾向は弱く、先行きは依然慎重な見通し

7月の業況判断に比べると、売上DI、採算DI、業況DIはマイナス幅が減少したが、仕入単価DIはマイナス幅が増加し、従業員DIのプラス幅は増加した。製造業の一部に業況は改善傾向との声が聞かれるが、人材不足に伴う人件費、外注費の増加などによるコスト増が続いている。先行きについては、7月に比べ、売上DI、仕入単価DIはマイナス幅が減少したが、採算DI、業況DIはマイナス幅が増加し、従業員DIはプラス幅が増加しており、先行きは依然として慎重な見通しとなっている。



### 【全産業平均DI】※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2018年 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2019年 8月
◆ 売上	1.0	0.0	▲ 4.2	6.1	▲ 6.5	▲ 10.6	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7
■ 採算	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 13.7	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6
▲ 業況	1.0	▲ 3.1	▲ 2.1	2.0	▲ 3.2	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2
● 仕入単価	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 34.7	▲ 37.8	▲ 39.8	▲ 30.9	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3
* 従業員	29.1	31.3	26.3	33.7	39.8	33.0	24.2	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6

売上DIは0.8ポイント、採算DIは6.5ポイント、業況DIは1.2ポイント、プラス幅が増加した。仕入単価DIは1.7ポイントマイナスとなり、従業員DIは1.4ポイントプラス幅が増加した。

### 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	▲ 3.1	▲ 10.4	▲ 8.3	▲ 35.4	27.1
7月	▲ 4.4	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 39.1	29.4
8月	▲ 1.9	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 37.1	29.5

先行き見通しでは、売上DIが2.5ポイントのプラス、採算DIは7.5ポイント、業況DIは7.1ポイントマイナス幅が増加した。仕入単価DIは2.0ポイントマイナス幅が減少、従業員DIは0.1ポイントプラス幅が増加した。

### 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	塗装業	猛暑で稼働率が悪く、厳しい状況が続いた。
	設備工事	補助金制度活用に伴う設備の更新関連の仕事が増加している。
製造業	鉄工	受注は好調で、特に首都圏からの発注により中期的にみても景況感は良好である。
	食品	消費税率のアップを控え、この先の景気動向が不透明である。
卸売業	衣料	顧客の小売店が減少しており、売上、採算とも悪化している。
	食品	輸入品全般において、仕入価格の高騰など不安定要素が山積している。
小売業	家具・日用雑貨	広告宣伝費が増加しているが、売上を上げるため削減が難しい。
サービス業	運輸	働き方改革に伴い人件費、外注額が増加している。
	ホテル	人材不足が課題であり、様々な方法で募集を行っているが若い人材が集まらない。
	ソフトウェア	消費税対応、Windows7サポート終了の対応で受注が増加した。